

学校関係者評価公表シート(平成30年度)

学校法人東粉浜幼稚園学校関係者評価委員会

平成31年3月23日

1. 学校関係者評価委員会の意見

平成30年度評価委員会を平成31年3月23日に開催した。

本年度の本園の取り組みについて

(1) 本年度の教育目標・重点課題・具体的な取り組み

- ・ 本園のよき伝統(徒歩通園・夏祭りの和太鼓・ハイレベルな生活発表会等)が守られ新しい息吹(英語指導・幼小中交流・チャリーディング等)が感じられる幼児教育が行われている。
- ・ 心穏やかなやさしい純粋な子どもが育っている。
- ・ 子どもの持てる力の開発に余念のない取り組みがわかる。
- ・ 夏祭り・運動会・生活発表会に見る演技指導、合奏は、幼稚園児に思われないほどハイレベルで感動的、保護者としては毎年のことながら満足している。

△ 体力の低さを感じる。園でも外遊びをもっと奨励してほしい。

- ・ その対応策として、月一回放課後外遊びの時間を設定している。
- ・ 週4回給食、1回手作り家庭弁当は家庭のニーズにあっている。
- ・ 平成31年度認定こども園に移行するにあたり、自園炊飯になるのは働く保護者にとってありがたいことであるが、家庭弁当の教育的意義も大切にしてほしい。

△ 長期休業中の預かり保育での給食は、保護者は全員給食希望であった。このままでよい。

(評価 A)

(2) 放課後自由遊びについて

- ・ 月2回を原則として、子ども達の放課後園庭遊びを設定している。固定遊具を主に使った遊びであるが、竹馬、鉄棒、縄跳びも見られる。ただ、園庭の広さもあり、集団でのボール遊びは困難である。
- ・ 子どもの安全性については、保護者の見守り・協力を考えたが、傍から見守る程度である。保護者同士のコミュニケーションが図られる場になっている。
- ・ 遊び場の少ない対応策としては、だれからも喜ばれている。自由参加であるが90%以上の参加率である。(評価 A)

(3) 食に関する指導について

- ・ 週4回の給食、手作り弁当1回は、保護者の負担から好評である。
- ・ 土曜日の預かり保育での給食実施も大変喜ばれている。(評価 B)

(4) 英語指導について

- ・ 脳が柔軟なこの機の英語教育は効果的だと思う
- ・ グローバルな子どもの育成に期待している。

(評価 A)

(5) もちつき大会

- ・ (有志の父親38名もあり、勇ましい音の中、和気藹々と実施できた。5名だけの参加

しか得られなかった頃とを比べると、園行事に協力的な父親が増えたと言える。)

(6) 作品展

- ・ とにかく個性的な人形がホールに勢ぞろいした。圧巻であった。
個人差の無い作品を見ていると先生の指導力の高さがわかる。

(7) 生活発表会

- ・ 四月当初や誕生会ではステージの上で固まっていた子どもが、大きな声を出して堂々と発表できていた。
劇も合奏もハイレベルである。毎年、感心している。

(8) チア引継ぎ発表会

- ・ チアの参加対象者は、4歳児と5歳児であるが、春の帝塚山音楽祭、東粉浜連合運動会に見せるチアのパフォーマンスはすごい。このお別れ発表会も実に程度が高い。

(9) 保育修了式

- ・ 3年間の保育のまとめの式である。いつものことながら厳粛で、園児が堂々としている。3年間の個々の頑張りが醸し出され自信に満ち溢れた態度である。園長と一人一人が握手を交わし、証書を受け取るのもほほえましく感動的である。

総合評価 A